

たてしん通信

019号



バックナンバーがホームページでもご覧いただけるようになりました!



2月18日、平成27(2015)年にスタートした“たてしん経営塾”の10周年を記念し、館山シーサイドホテルにて記念交流会を開催しました。

歴代塾生や関係者ら66名が集まり、同塾のこれまでの写真を振り返るスライドや自社PRタイムなどを交え、交流を深めました。

『千葉県マスコットキャラクター チーバくん』



『千葉県マスコットキャラクター チーバくん』



令和8(2026)年4月15日



地域と共に、皆様と共に

館山信用金庫

<https://www.shinkin.co.jp/tateyama/>



ちばSDGs
ちばSDGsパートナー 933号

令和7年度 たてしん地域優秀企業表彰 受賞企業紹介

○たてしん地域優秀企業表彰とは○

南房総地域において、地域経済への貢献、地域活動への取組み等に顕著な功績を残した事業者等を年1回表彰し、取組みを地域内外に紹介することで、当該企業や地域のイメージ向上、地域活性化に向けた気運向上等につなげることを目的としています。

優秀大賞
伝統と
革新の匠
賞



有限会社オサダ (館山市)

1923年に創業し、100年以上の歴史を持つ畳製造業。

代表取締役である長田久富氏は、2024年度には千葉県の卓越技能表彰、2025年度には国の卓越した技能者(現代の名工)を受賞。

日本の伝統文化である畳の文化を守りつつ、住環境等の変化に応じた商品や技術の革新(タフリング畳等)にも取り組んでいる。

(一社)日本畳産業協会の会長を務め、技能グランプリでの審査員や業界団体での技術指導も担当。活動の幅は自社に留まらず、業界全体の振興にまで及び、業界における技術の伝承にも大きく貢献している。

また、畳の普及活動の一環として、こども園や子育て支援施設への畳の寄付、地域の子ども会行事にも協力し、若い世代が地元産業や伝統に触れる機会をつくりだしている。

花しぶきグループ (館山市)

宿泊事業を拡大するとともに、寿司店や古民家オーベルジュ等の飲食事業や定置網事業、介護福祉事業など事業の多角化をしている。

地元食材にこだわり、自社で定置網を有し、新鮮な魚介類を直接仕入れる独自のサプライチェーンを構築。肉・野菜なども地元産を積極的に採用し、地域の一次産業振興にも貢献している。

六つの宿泊施設の平均稼働率は85%で、国内外から多くの観光客を受け入れている。また、地域で300名を超える雇用を生み出し、地域の教育機関への協力やスポーツ支援による次世代を担う人材の育成、外国人スタッフの積極採用もおこなっている。

優秀賞
地域
活力創生
賞



たてしん中小企業景況レポート No.33

令和8年(2026年) 1月～3月

編集・発行：館山信用金庫
支援部
TEL:0470-29-3015



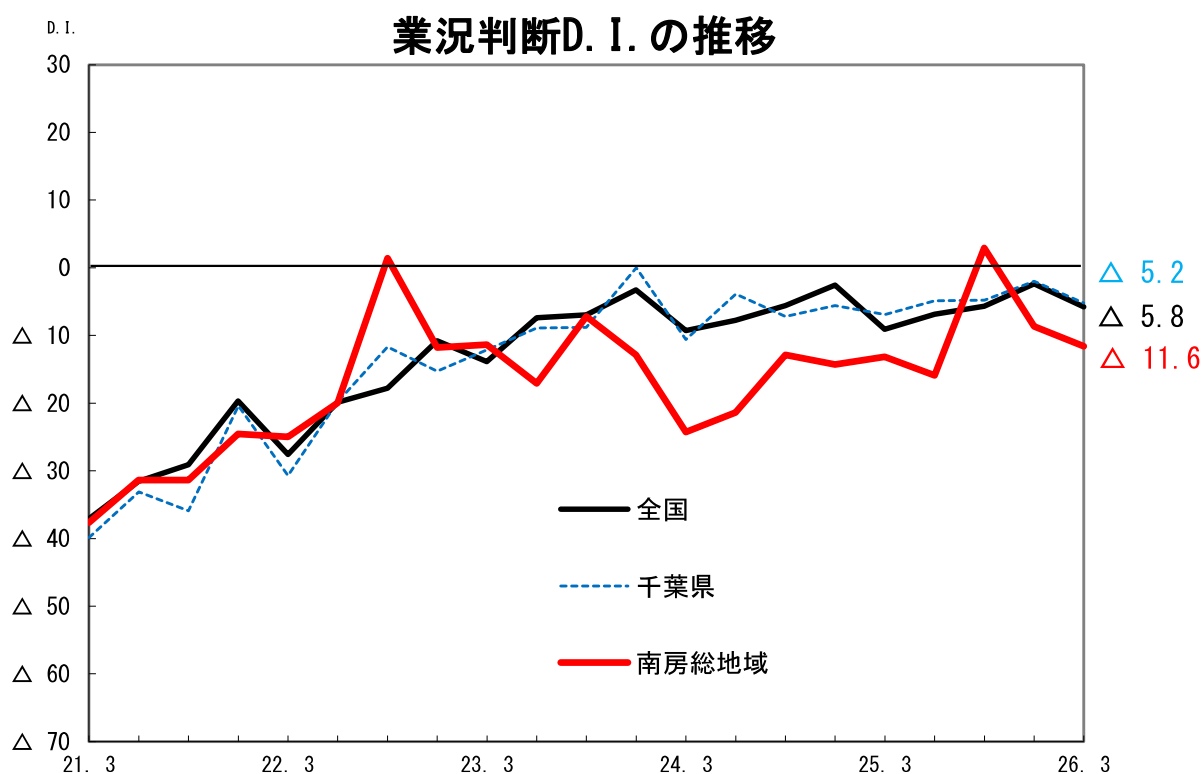
地域と共に、皆様と共に

館山信用金庫

<概況>

令和8年(2026年)1～3月期の全国の業況判断D.I.は $\Delta 5.8$ と、前期に比べ3.4ポイントの低下となった。

なお、今回の業況判断D. I. は、前回調査時における今期見通し($\Delta 7.9$)を2.1ポイント上回った。 ※業況判断D.I.(「良い」と回答した割合から「悪い」と回答した割合の差、プラスほど良い)

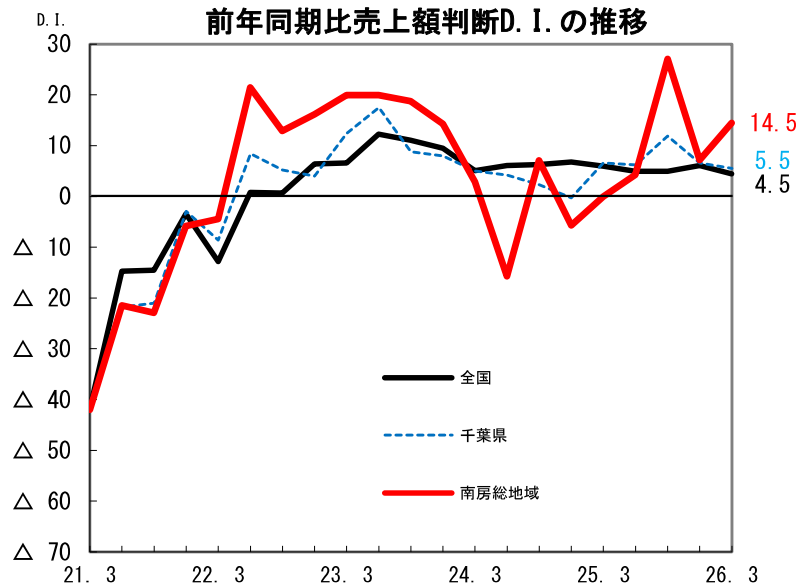


千葉県の業況判断D.I.は $\Delta 5.2$ と、前期に比べ3.2ポイントの低下となった。
南房総地域の業況判断D.I.は $\Delta 11.6$ と、前期に比べ2.9ポイントの低下となった。

※D.I.とは、Diffusion Indexの略で企業の業況感や人員の過不足などの各種判断を指標化したものです

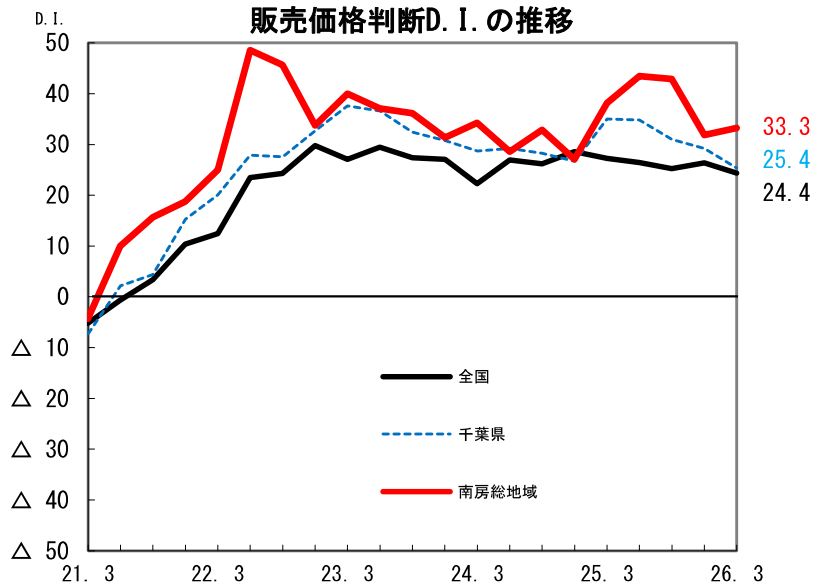
(全国・千葉・南房総)
売上は前年同期比上昇

全国の前年同期比売上額判断D.I.は4.5となった。
南房総地域では、14.5となり、前年同期から増加となった。
※売上額判断D.I.（「増加した」と回答した割合から「減少した」と回答した割合の差、プラスほど良い）



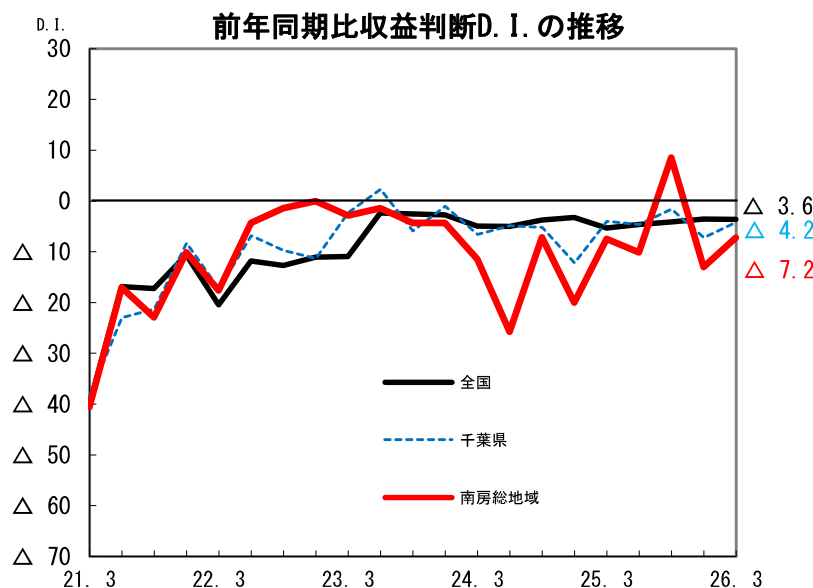
(全国・千葉・南房総)
販売価格は高水準を維持

全国の販売価格判断D.I.は24.4と前期比2.0ポイント低下した。
南房総地域では、33.3と前期比1.4ポイントの増加となり、引続き高い水準で推移している。
※販売価格判断D.I.（「上がった」と回答した割合から「下がった」と回答した割合の差、プラスほど販売価格が上昇）



(全国・千葉・南房総)
収益はマイナス水準

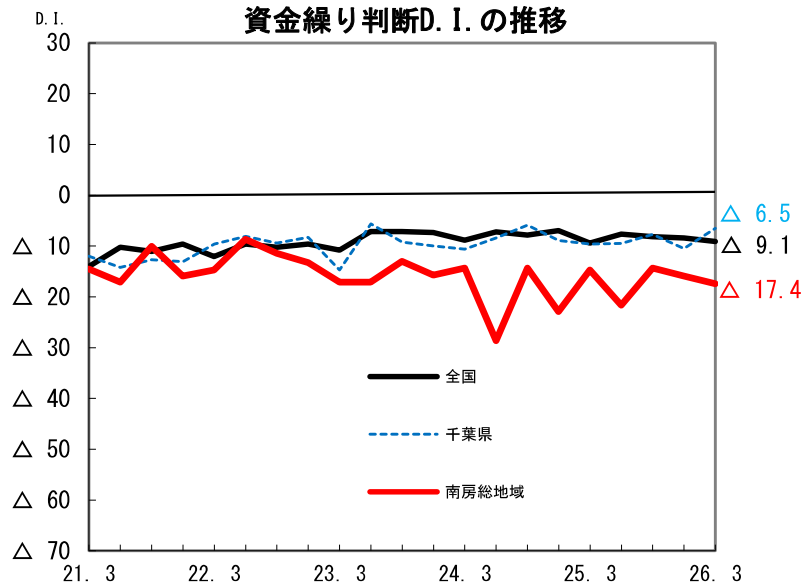
全国の前年同期比収益判断D.I.は△3.6と依然としてマイナスの水準となり、南房総地域についても、△7.2と引き続きマイナスの水準となった。
※収益判断D.I.（「増加した」と回答した割合から「減少した」と回答した割合の差、プラスほど良い）



(全国・千葉・南房総)
資金繰りは横ばい

全国の資金繰り判断D.I.は△9.1と前期比0.7ポイント低下、南房総地域では、△17.4と前期比1.5ポイントの低下となった。

いずれも、年間を通してほぼ横ばいの状況にある。
※資金繰り判断D.I.（「楽(らく)」と回答した割合から「厳しい」と回答した割合の差、プラスほど良い）

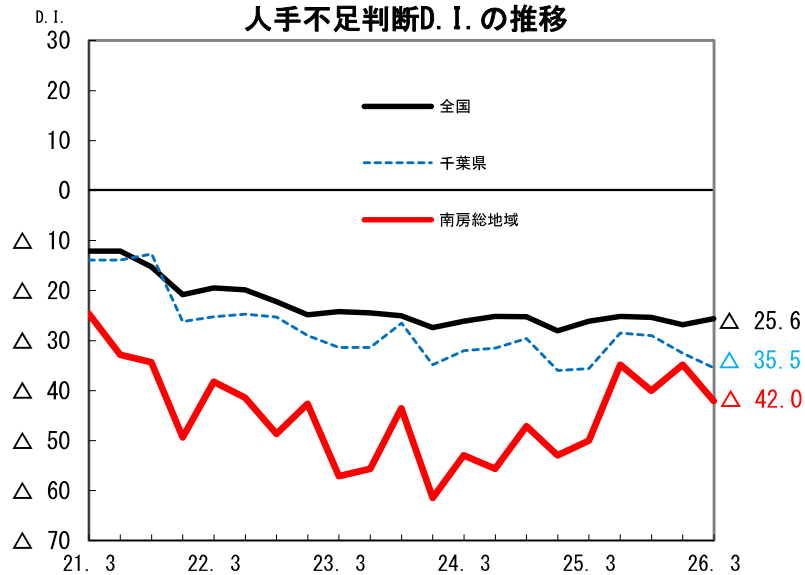


(全国・千葉・南房総)
人手不足感は依然として強い

全国の人手過不足判断D.I.は△25.6と、マイナス幅が前期比1.2ポイント緩和し、人手不足感がやや改善した。

南房総地域は、マイナス幅が前期比7.2ポイント拡大し△42.0となり、依然として人手不足感は強い。

※人手過不足判断D.I.（「過剰」と回答した割合から「不足」と回答した割合の差、マイナスほど人手不足）

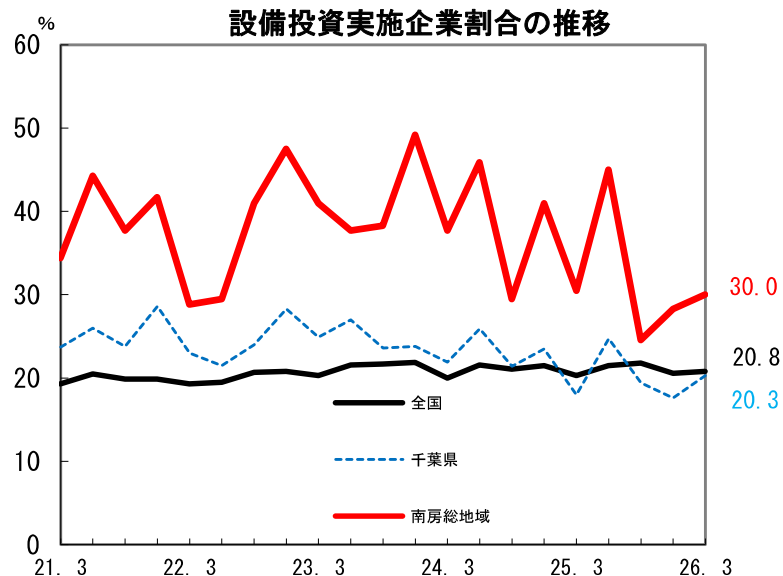


(全国・千葉・南房総)
設備投資は上昇

全国の設備投資実施企業割合は20.8%と前期比0.2ポイント上昇となった。

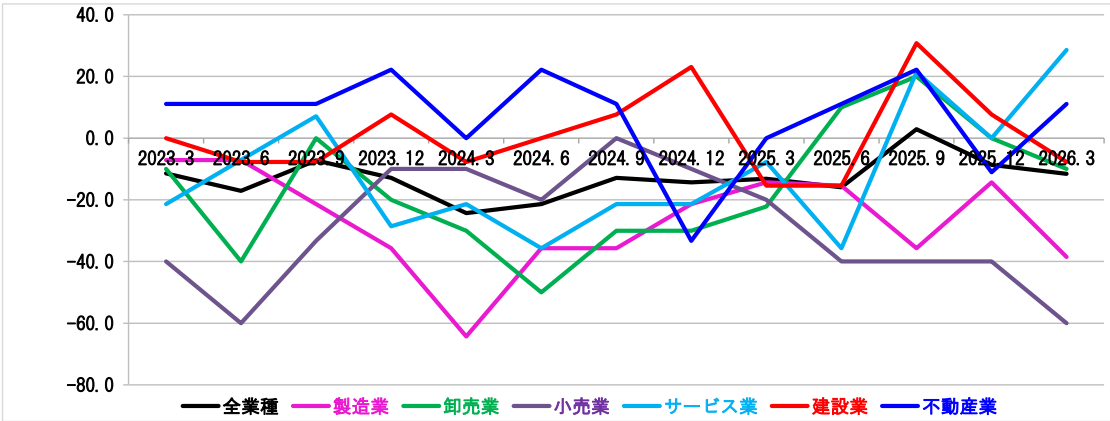
南房総地域では30.0%と前期比1.7ポイント上昇し、依然として全国・千葉を上回る水準で推移している。

※設備投資実施企業割合（設備投資を実施した企業の割合）



主要項目時系列表

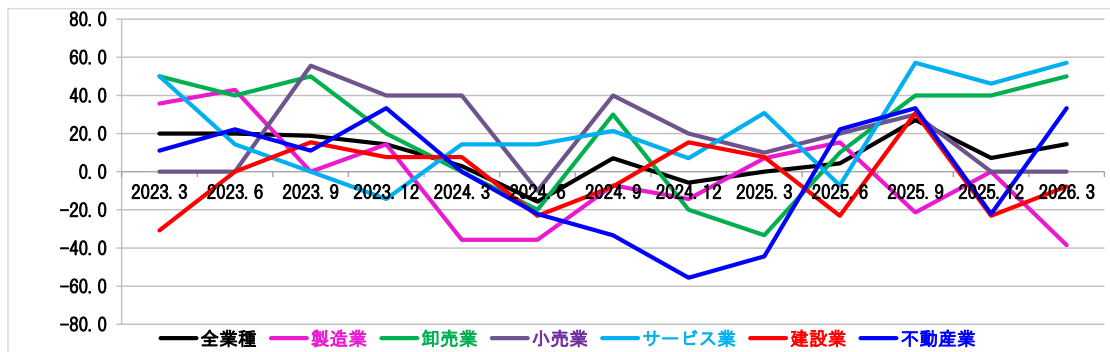
業況判断 D.I



区分	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3	2025.6	2025.9	2025.12	2026.3	2026.6
全業種	-11.4	-17.1	-7.2	-12.9	-24.3	-21.4	-12.9	-14.3	-13.2	-15.9	2.9	-8.7	-11.6	-26.1
製造業	-7.1	-7.1	-21.4	-35.7	-64.3	-35.7	-35.7	-21.4	-14.3	-15.4	-35.7	-14.3	-38.5	-46.2
卸売業	-10.0	-40.0	0.0	-20.0	-30.0	-50.0	-30.0	-30.0	-22.2	10.0	20.0	0.0	-10.0	-20.0
小売業	-40.0	-60.0	-33.3	-10.0	-10.0	-20.0	0.0	-10.0	-20.0	-40.0	-40.0	-40.0	-60.0	-70.0
サービス業	-21.4	-7.1	7.1	-28.6	-21.4	-35.7	-21.4	-21.4	-7.7	-35.7	21.4	0.0	28.6	0.0
建設業	0.0	-7.7	-7.7	7.7	-7.7	0.0	7.7	23.1	-15.4	-15.4	30.8	7.7	-7.7	-15.4
不動産業	11.1	11.1	11.1	22.2	0.0	22.2	11.1	-33.3	0.0	11.1	22.2	-11.1	11.1	-11.1

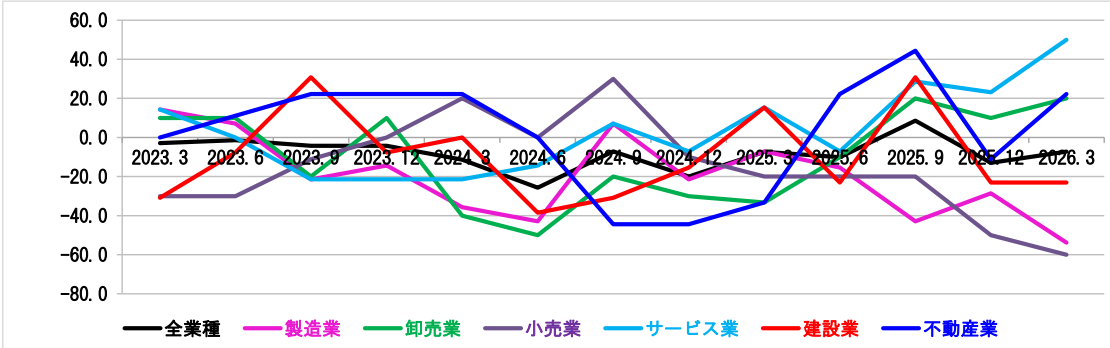
※ 2026.6は、見通しである。

売上額判断 D.I (前年同期比)



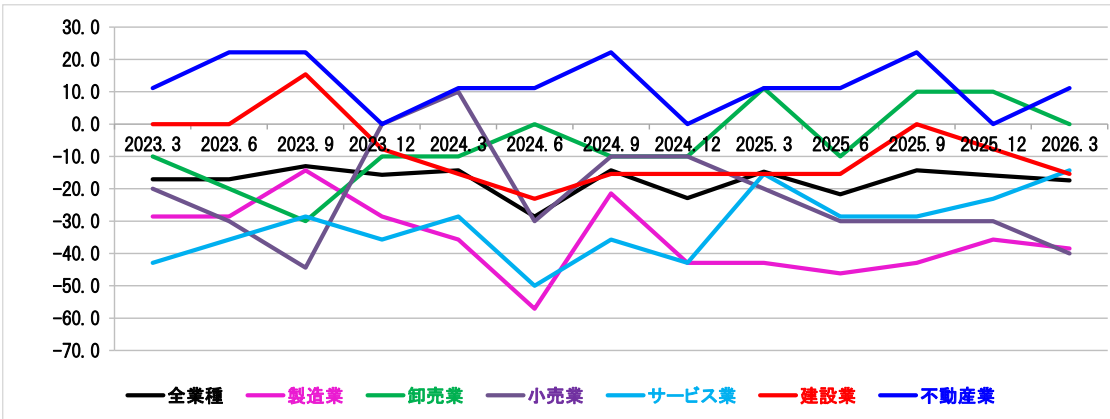
区分	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3	2025.6	2025.9	2025.12	2026.3
全業種	20.0	20.0	18.8	14.3	2.9	-15.7	7.1	-5.7	0.0	4.3	27.1	7.2	14.5
製造業	35.7	42.9	0.0	14.3	-35.7	-35.7	-7.1	-14.3	7.1	15.4	-21.4	0.0	-38.5
卸売業	50.0	40.0	50.0	20.0	0.0	-20.0	30.0	-20.0	-33.3	10.0	40.0	40.0	50.0
小売業	0.0	0.0	55.6	40.0	40.0	-10.0	40.0	20.0	10.0	20.0	30.0	0.0	0.0
サービス業	50.0	14.3	0.0	-14.3	14.3	14.3	21.4	7.1	30.8	-7.1	57.1	46.2	57.1
建設業	-30.8	0.0	15.4	7.7	7.7	-23.1	-7.7	15.4	7.7	-23.1	30.8	-23.1	-7.7
不動産業	11.1	22.2	11.1	33.3	0.0	-22.2	-33.3	-55.6	-44.4	22.2	33.3	-22.2	33.3

収益判断 D.I (前年同期比)



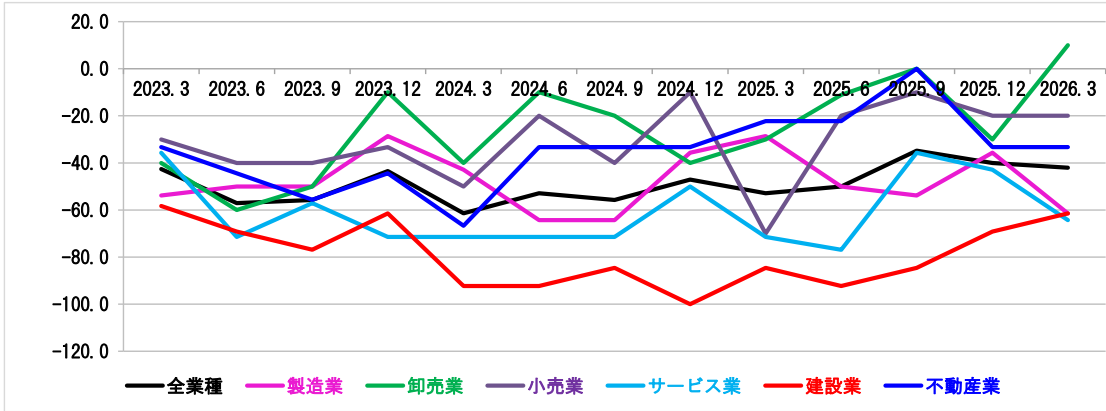
区分	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3	2025.6	2025.9	2025.12	2026.3
全業種	-2.9	-1.4	-4.3	-4.3	-11.4	-25.7	-7.1	-20.0	-7.4	-10.1	8.6	-13.0	-7.2
製造業	14.3	7.1	-21.4	-14.3	-35.7	-42.9	7.1	-21.4	-7.1	-15.4	-42.9	-28.6	-53.8
卸売業	10.0	10.0	-20.0	10.0	-40.0	-50.0	-20.0	-30.0	-33.3	-10.0	20.0	10.0	20.0
小売業	-30.0	-30.0	-11.1	0.0	20.0	0.0	30.0	-10.0	-20.0	-20.0	-20.0	-50.0	-60.0
サービス業	14.3	0.0	-21.4	-21.4	-21.4	-14.3	7.1	-7.1	15.4	-7.1	28.6	23.1	50.0
建設業	-30.8	-7.7	30.8	-7.7	0.0	-38.5	-30.8	-15.4	15.4	-23.1	30.8	-23.1	-23.1
不動産業	0.0	11.1	22.2	22.2	22.2	0.0	-44.4	-44.4	-33.3	22.2	44.4	-11.1	22.2

資金繰り判断 D.I (楽-苦)



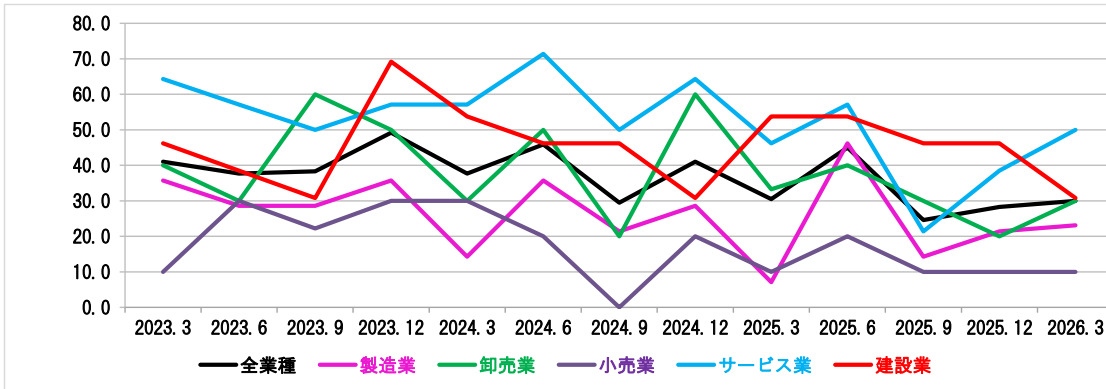
区分	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3	2025.6	2025.9	2025.12	2026.3
全業種	-17.1	-17.1	-13.0	-15.7	-14.3	-28.6	-14.3	-22.9	-14.7	-21.7	-14.3	-15.9	-17.4
製造業	-28.6	-28.6	-14.3	-28.6	-35.7	-57.1	-21.4	-42.9	-42.9	-46.2	-42.9	-35.7	-36.5
卸売業	-10.0	-20.0	-30.0	-10.0	-10.0	0.0	-10.0	-10.0	11.1	-10.0	10.0	10.0	0.0
小売業	-20.0	-30.0	-44.4	0.0	10.0	-30.0	-10.0	-10.0	-20.0	-30.0	-30.0	-30.0	-40.0
サービス業	-42.9	-35.7	-28.6	-35.7	-28.6	-50.0	-35.7	-42.9	-15.4	-28.6	-28.6	-23.1	-14.3
建設業	0.0	0.0	15.4	-7.7	-15.4	-23.1	-15.4	-15.4	-15.4	-15.4	0.0	-7.7	-15.4
不動産業	11.1	22.2	22.2	0.0	11.1	11.1	22.2	0.0	11.1	11.1	22.2	0.0	11.1

人手不足判断 D.I (過剰-不足)



区分	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3	2025.6	2025.9	2025.12	2026.3
全業種	-42.6	-57.1	-55.7	-43.5	-61.4	-52.9	-55.7	-47.1	-52.9	-50.0	-34.8	-40.0	-42.0
製造業	-53.8	-50.0	-50.0	-28.6	-42.9	-64.3	-64.3	-35.7	-28.6	-50.0	-53.8	-35.7	-61.5
卸売業	-40.0	-60.0	-50.0	-10.0	-40.0	-10.0	-20.0	-40.0	-30.0	-11.1	0.0	-30.0	10.0
小売業	-30.0	-40.0	-40.0	-33.3	-50.0	-20.0	-40.0	-10.0	-70.0	-20.0	-10.0	-20.0	-20.0
サービス業	-35.0	-71.4	-57.1	-71.4	-71.4	-71.4	-71.4	-50.0	-71.4	-76.9	-35.7	-42.9	-64.3
建設業	-58.3	-69.2	-76.9	-61.5	-92.3	-92.3	-84.6	-100.0	-84.6	-92.3	-84.6	-69.2	-61.5
不動産業	-33.3	-44.4	-55.6	-44.4	-66.7	-33.3	-33.3	-33.3	-22.2	-22.2	0.0	-33.3	-33.3

設備投資実施企業割合 (%)

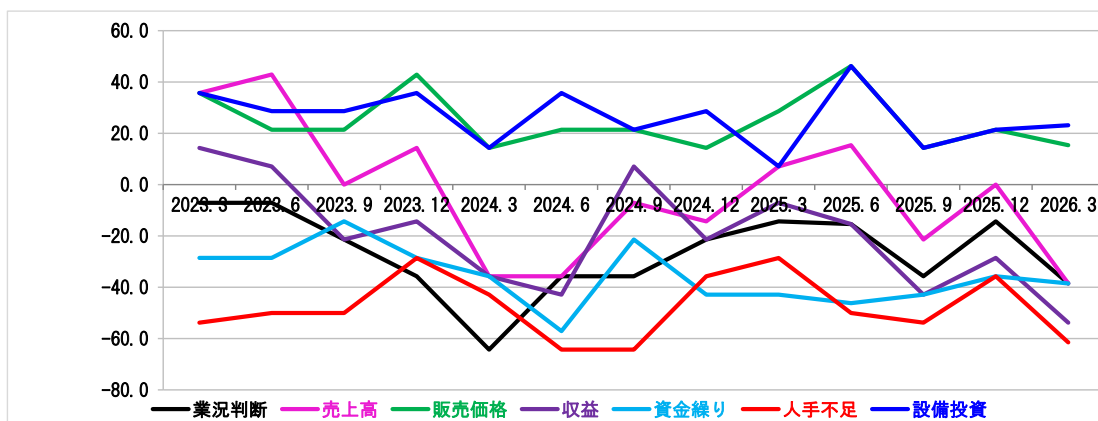


区分	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3	2025.6	2025.9	2025.12	2026.3
全業種	41.0	37.7	38.3	49.2	37.7	45.9	29.5	41.0	30.5	45.0	24.6	28.3	30.0
製造業	35.7	28.6	28.6	35.7	14.3	35.7	21.4	28.6	7.1	46.2	14.3	21.4	23.1
卸売業	40.0	30.0	60.0	50.0	30.0	50.0	20.0	60.0	33.3	40.0	30.0	20.0	30.0
小売業	10.0	30.0	22.2	30.0	30.0	20.0	0.0	20.0	10.0	20.0	10.0	10.0	10.0
サービス業	64.3	57.1	50.0	57.1	57.1	71.4	50.0	64.3	46.2	57.1	21.4	38.5	50.0
建設業	46.2	38.5	30.8	69.2	53.8	46.2	46.2	30.8	53.8	53.8	46.2	46.2	30.8

※ 不動産業は、調査対象外である。

業種別時系列表

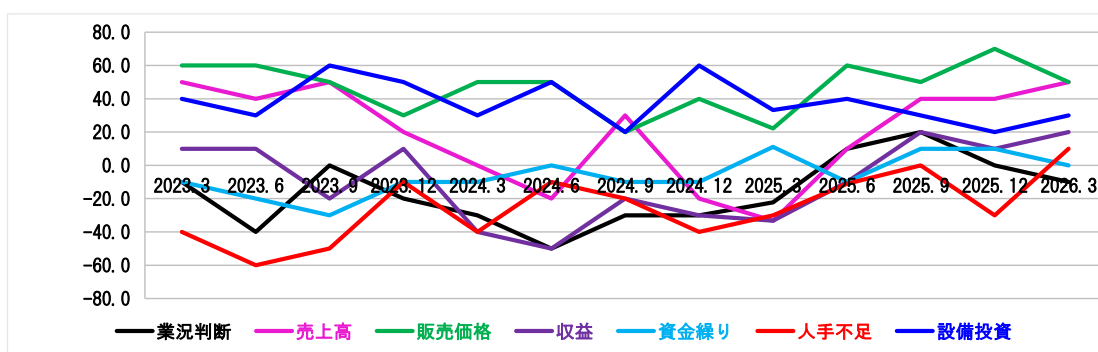
製造業



区分	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3	2025.6	2025.9	2025.12	2026.3	2026.6
業況判断	-7.1	-7.1	-21.4	-35.7	-64.3	-35.7	-35.7	-21.4	-14.3	-15.4	-35.7	-14.3	-38.5	-46.2
売上高	35.7	42.9	0.0	14.3	-35.7	-35.7	-7.1	-14.3	7.1	15.4	-21.4	0.0	-38.5	
販売価格	35.7	21.4	21.4	42.9	14.3	21.4	21.4	14.3	28.6	46.2	14.3	21.4	15.4	
収益	14.3	7.1	-21.4	-14.3	-35.7	-42.9	7.1	-21.4	-7.1	-15.4	-42.9	-28.6	-53.8	
資金繰り	-28.6	-28.6	-14.3	-28.6	-35.7	-57.1	-21.4	-42.9	-42.9	-46.2	-42.9	-35.7	-38.5	
人手不足	-53.8	-50.0	-50.0	-28.6	-42.9	-64.3	-64.3	-35.7	-28.6	-50.0	-53.8	-35.7	-61.5	
設備投資	35.7	28.6	28.6	35.7	14.3	35.7	21.4	28.6	7.1	46.2	14.3	21.4	23.1	

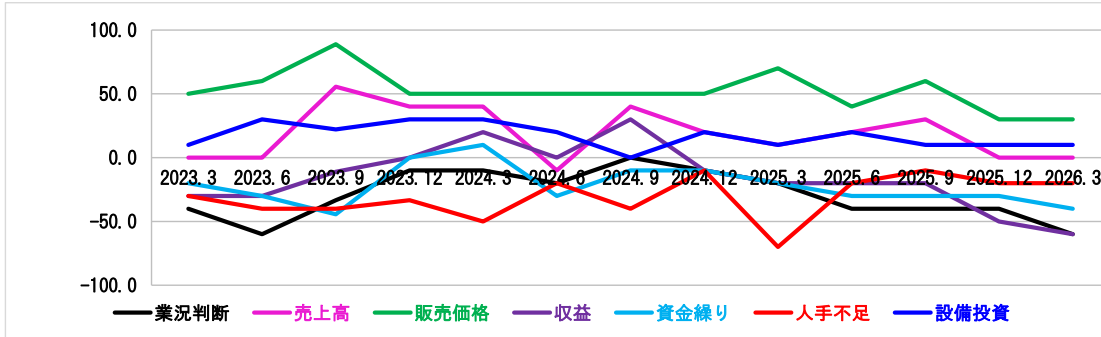
※ 2026.6は、見通しである。

卸売業



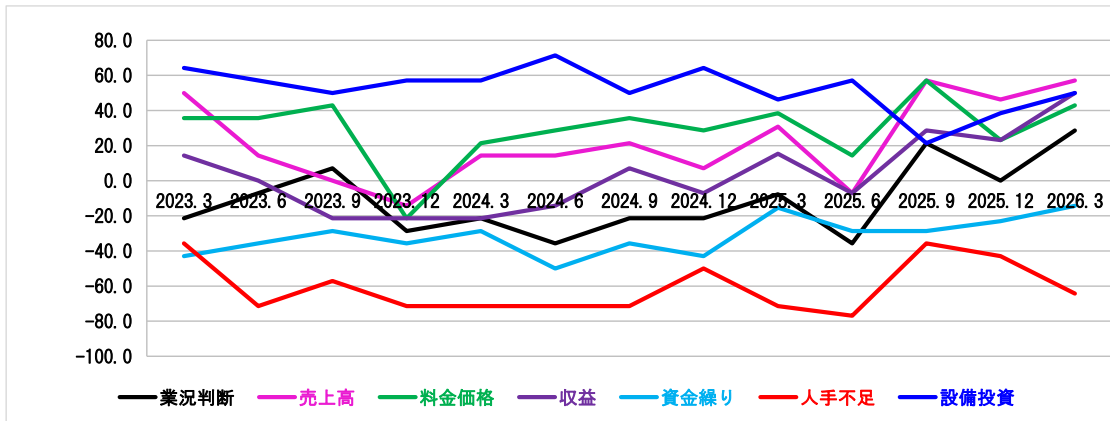
区分	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3	2025.6	2025.9	2025.12	2026.3	2026.6
業況判断	-10.0	-40.0	0.0	-20.0	-30.0	-50.0	-30.0	-30.0	-22.2	10.0	20.0	0.0	-10.0	-20.0
売上高	50.0	40.0	50.0	20.0	0.0	-20.0	30.0	-20.0	-33.3	10.0	40.0	40.0	50.0	
販売価格	60.0	60.0	50.0	30.0	50.0	50.0	20.0	40.0	22.2	60.0	50.0	70.0	50.0	
収益	10.0	10.0	-20.0	10.0	-40.0	-50.0	-20.0	-30.0	-33.3	-10.0	20.0	10.0	20.0	
資金繰り	-10.0	-20.0	-30.0	-10.0	-10.0	0.0	-10.0	-10.0	11.1	-10.0	10.0	10.0	0.0	
人手不足	-40.0	-60.0	-50.0	-10.0	-40.0	-10.0	-20.0	-40.0	-30.0	-11.1	0.0	-30.0	10.0	
設備投資	40.0	30.0	60.0	50.0	30.0	50.0	20.0	60.0	33.3	40.0	30.0	20.0	30.0	

小売業



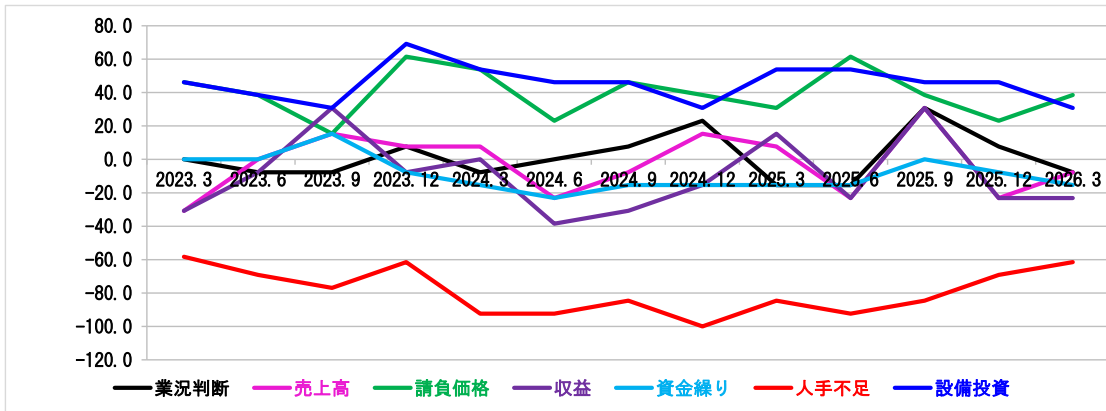
区分	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3	2025.6	2025.9	2025.12	2026.3	2026.6
業況判断	-40.0	-60.0	-33.3	-10.0	-10.0	-20.0	0.0	-10.0	-20.0	-40.0	-40.0	-40.0	-60.0	-70.0
売上高	0.0	0.0	55.6	40.0	40.0	-10.0	40.0	20.0	10.0	20.0	30.0	0.0	0.0	
販売価格	50.0	60.0	88.9	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	70.0	40.0	60.0	30.0	30.0	
収益	-30.0	-30.0	-11.1	0.0	20.0	0.0	30.0	-10.0	-20.0	-20.0	-20.0	-50.0	-60.0	
資金繰り	-20.0	-30.0	-44.4	0.0	10.0	-30.0	-10.0	-10.0	-20.0	-30.0	-30.0	-30.0	-40.0	
人手不足	-30.0	-40.0	-40.0	-33.3	-50.0	-20.0	-40.0	-10.0	-70.0	-20.0	-10.0	-20.0	-20.0	
設備投資	10.0	30.0	22.2	30.0	30.0	20.0	0.0	20.0	10.0	20.0	10.0	10.0	10.0	

サービス業



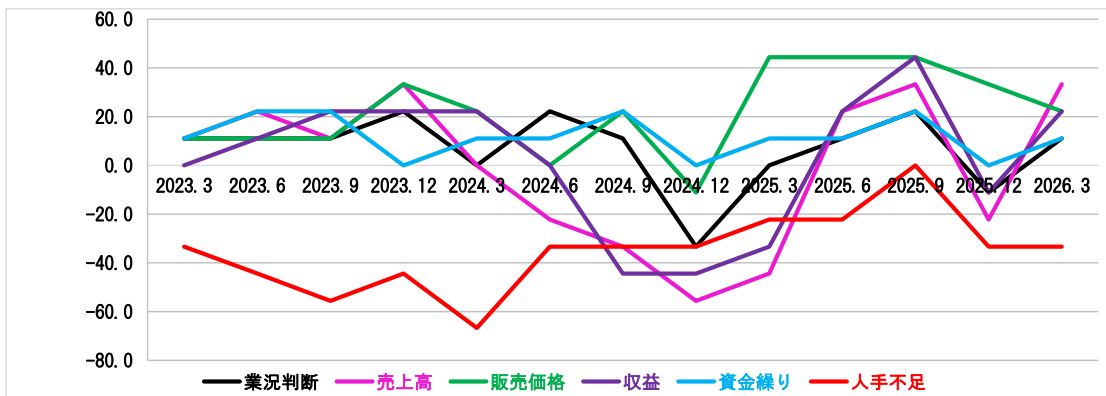
区分	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3	2025.6	2025.9	2025.12	2026.3	2026.6
業況判断	-21.4	-7.1	7.1	-28.6	-21.4	-35.7	-21.4	-21.4	-7.7	-35.7	21.4	0.0	28.6	0.0
売上高	50.0	14.3	0.0	-14.3	14.3	14.3	21.4	7.1	30.9	-7.1	57.1	46.2	57.1	
料金価格	35.7	35.7	42.9	-21.4	21.4	28.6	35.7	28.6	38.5	14.3	57.1	23.1	42.9	
収益	14.3	0.0	-21.4	-21.4	-21.4	-14.3	7.1	-7.1	15.4	-7.1	28.6	23.1	50.0	
資金繰り	-42.9	-35.7	-28.6	-35.7	-28.6	-50.0	-35.7	-42.9	-15.4	-28.6	-28.6	-23.1	-14.3	
人手不足	-35.7	-71.4	-57.1	-71.4	-71.4	-71.4	-71.4	-50.0	-71.4	-76.9	-35.7	-42.9	64.3	
設備投資	64.3	57.1	50.0	57.1	57.1	71.4	50.0	64.3	46.2	57.1	21.4	38.5	50.0	

建設業



区分	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3	2025.6	2025.9	2025.12	2026.3	2026.6
業況判断	0.0	-7.7	-7.7	7.7	-7.7	0.0	7.7	23.1	-15.4	-15.4	30.8	7.7	-7.7	-15.4
売上高	-30.8	0.0	15.4	7.7	7.7	-23.1	-7.7	15.4	7.7	-23.1	30.8	-23.1	-7.7	
請負価格	46.2	38.5	15.4	61.5	53.8	23.1	46.2	38.5	30.8	61.5	38.5	23.1	38.5	
収益	-30.8	-7.7	30.8	-7.7	0.0	-38.5	-30.8	-15.4	15.4	-23.1	30.8	-23.1	-23.1	
資金繰り	0.0	0.0	15.4	-7.7	-15.4	-23.1	-15.4	-15.4	-15.4	-15.4	0.0	-7.7	-15.4	
人手不足	-58.3	-69.2	-76.9	-61.5	-92.3	-92.3	-84.6	-100.0	-84.6	-92.3	-84.6	-69.2	-61.5	
設備投資	46.2	38.5	30.8	69.2	53.8	46.2	46.2	30.8	53.8	53.8	46.2	46.2	30.8	

不動産業



区分	2023.3	2023.6	2023.9	2023.12	2024.3	2024.6	2024.9	2024.12	2025.3	2025.6	2025.9	2025.12	2026.3	2026.6
業況判断	11.1	11.1	11.1	22.2	0.0	22.2	11.1	-33.3	0.0	11.1	22.2	-11.1	11.1	-11.1
売上高	11.1	22.2	11.1	33.3	0.0	-22.2	-33.3	-55.6	-44.4	22.2	33.3	-22.2	33.3	
販売価格	11.1	11.1	11.1	33.3	22.2	0.0	22.2	-11.1	44.4	44.4	44.4	33.3	22.2	
収益	0.0	11.1	22.2	22.2	22.2	0.0	-44.4	-44.4	-33.3	22.2	44.4	-11.1	22.2	
資金繰り	11.1	22.2	22.2	0.0	11.1	11.1	22.2	0.0	11.1	11.1	22.2	0.0	11.1	
人手不足	-33.3	-44.4	-55.6	-44.4	-66.7	-33.3	-33.3	-33.3	-22.2	-22.2	0.0	-33.3	-33.3	

※ 設備投資は、調査対象外である。

たてしん中小企業景況レポート No. 33 特徴等

(令和8年(2026年)1月~3月)

◆業況判断 D. I. ◆

全国の業況判断 D. I. は△5.8、前期比 3.4 ポイント低下となりました。千葉県では前期比 3.2 ポイント低下の△5.2、南房総地域においては前期比 2.9 ポイント低下の△11.6 となり、南房総地域は依然として全国・千葉県を下回る水準となっています。

全国の業種別の業況判断 D. I. は、全 6 業種中、不動産業を除く 5 業種で、地域別には全 11 地域中、首都圏、南九州を除く 9 地域でそれぞれ低下しました。

次期の予想業況判断 D. I. を見ると、全国△3.7 (今期実績比+2.1)、千葉県△7.8 (同△2.6)、南房総地域△26.1 (同△14.5) と、**全国は改善するなかで、千葉県、南房総地域は厳しい業況予想となっています。**

なお、今回の調査は令和8年3月2日~6日の調査であり、**イラン情勢の悪化による原油価格の高騰や原油供給不安等の影響については十分織り込まれる前の調査となっています。**今後各方面への影響は拡大していくと思われることから、次期以降の業況については下振れの可能性を含め、**十分注視していく必要があると思われる。**

◆南房総地域の業況判断 D. I. (前期比) ◆

南房総地域の業況判断 D. I. の業種別では、サービス業 28.6 (前期比+28.6)、不動産業 11.1 (同+22.2) が対前期改善するなか、建設業△7.7 (同△15.4)、卸売業△10.0 (同△10.0)、製造業△38.5 (同△24.2)、小売業△60.0 (同△20.0) の 4 業種は厳しい回答となりました。**サービス業については、1~3月は花のシーズンとなることから例年宿泊業など観光関係を中心に季節要因による対前期改善となりますが、一昨年△21.4、昨年△7.7、今回 28.6 と感染症の影響も薄れ、改善傾向にあるものと思われる。**

◆南房総地域の次期の見込み ◆

南房総地域の次期の見込みについては、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の全業種で低下を見込んでいます。**季節要因による次期見込み低下となっている業種もありますが、小売業、製造業で今期業況判断、次期見込みともに特に厳しい回答となっており、物価や人件費の高騰の他、外部環境として小売業については競合、製造業については大手企業の動向などによる影響があるものと推察されます。**

◆売上額判断 D. I. (前年同期比・南房総地域) ◆

南房総地域の売上額判断 D. I. は 14.5 となりました。業種別で見ると、サービス業 57.1、卸売業 50.0、不動産業 33.3 と 3 業種がプラスの水準、小売業 0.0 と横ばい、建設業△7.7、製造業△38.5 の 2 業種がマイナスの水準となりました。

◆収益判断 D. I. (前年同期比・南房総地域) ◆

南房総地域の収益判断 D. I. は、△7.2 となりました。

業種別では、サービス業 50.0、不動産業 22.2、卸売業 20.0 の 3 業種がプラスの水準となり、建設業△23.1、製造業△53.8、小売業△60.0 の 3 業種でマイナスの水準と

なっています。マイナス水準の大きい製造業と小売業については、製造業は売上額判断についても低下していることから、売上減少に伴う収益の低下、小売業は売上額判断が横ばいの中で収益が低下していることから、仕入れや人件費の増加分を価格に転嫁できていないことによるものと推察されます。

◆資金繰り判断 D. I. (南房総地域)

南房総地域の資金繰り判断 D. I. は、業種別で見ると、不動産業 11.1 (前期比+11.1)、卸売業 0.0 (同△10.0)、サービス業△14.3 (同+8.8)、建設業△15.4 (同△7.7)、小売業△40.0 (同△10.0)、製造業△38.5 (同△2.8) と、小幅な動きとなっています。なお、南房総地域の水準は△17.4 と全国△9.1、千葉県△6.5 を下回っており、南房総地域においては依然として資金繰りがやや厳しい状況にあると窺えます。

◆人手過不足判断 D. I. (南房総地域)・設備投資実施企業割合 (南房総地域) ◆

人手過不足判断 D. I. を見ると、全国△25.6 (前期比+1.2)、千葉県△35.5 (同△3.0)、南房総地域△42.0 (同△7.2) となりました。依然として人手不足感は強く、また南房総地域は全国よりも強い傾向にあります。

一方、南房総地域の設備投資実施企業割合は 30.0%と前期比 1.7 ポイントの上昇となり、全国 20.8%、千葉県 20.3%と比べて引き続き高水準を維持しています。

◆特別調査 『中小企業経営者のライフデザイン』について◆

「中小企業経営者のライフデザイン」についての特別調査もおこなわれました。

「10年先の自社の経営展望」については、全国・南房総ともに現状維持・横ばいが一番多くなりました。経営者の年齢階層別にみると、全国では若い企業ほど「事業拡大」への回答割合が高い一方で、年齢が高くなるにつれて、「事業縮小」「廃業・事業譲渡予定」「わからない」の回答割合が高くなる傾向にありました。

「社長（代表者）の現役を続けたいと思う年齢」のうち、「具体的な年齢の目途がある」が全国 38.4%に対し、南房総 43.3%と全国を上回る結果となりました。

また、「具体的な年齢の目途はない」のうち、「後継者に託せるようになるまで現役」が全国 25.7%、南房総 23.9%、「健康が続く限り生涯現役」が全国 22.7%、南房総 23.9%と高い結果となりました。

特別設問「人材定着などに向けて、2026年中に賃金の引上げを実施するか」については、「引上げ」が全国 54.9%と、前年調査から 3.7 ポイント上昇し（2025年3月調査、51.2%）、南房総が 64.6%と、前年調査から 16.1 ポイント上昇しました（2025年3月調査、48.5%）。

南房総地域では、「引き上げない」の理由として、「賃上げに見合う価格転嫁ができていない」「今後の業況見通しが不透明」がともに 10.8%と最も多い結果となりました。

以上

中小企業経営者のライフデザイン※抜粋

今後10年先の自社の経営展望と社長の年齢			経営者として現役を続ける目的				
	項目	全国	南房総		項目	全国	南房総
10年先の自社の経営展望	事業拡大	25.5%	29.9%	具体的な年齢の目的がある	60歳未満	1.4%	4.5%
	現状維持・横ばい	49.3%	40.3%		60～64歳	4.6%	3.0%
	事業縮小	6.5%	9.0%		65～69歳	11.6%	20.9%
	廃業・事業譲渡予定	4.9%	0.0%		70～74歳	12.2%	4.5%
	わからない	13.8%	20.9%		75～79歳	6.5%	9.0%
					80歳以上	2.0%	1.5%
社長の年齢階級	20歳代・30歳代	3.0%	1.5%	具体的な年齢の目的はない	健康が続く限り生涯現役	22.7%	23.9%
	40歳代	13.8%	10.4%		後継者に託せるようになるまでは現役	25.7%	23.9%
	50歳代	32.0%	38.8%		生活資金の見通しがつくまで現役	1.9%	0.0%
	60歳代	29.2%	23.9%		まったく考えていない	11.4%	9.0%
	70歳代以上	22.1%	25.4%				
<p>「10年先の自社の経営展望」については、全国・南房総ともに現状維持・横ばいが一番多くなった。経営者の年齢階層別にみると、全国では若い企業ほど「事業拡大」の回答割合が高い一方で、年齢が上になるにつれて、「事業縮小」「廃業・事業譲渡予定」「わからない」の回答割合が高くなる傾向にあった。</p>				<p>「社長の現役を続けたいと思う年齢」については、「具体的な年齢の目的がある」が全国38.4%に対し、南房総43.3%と全国を上回る結果となった。「具体的な年齢の目的はない」のうちでは、「後継者に託せるようになるまで現役」が全国25.7%、南房総23.9%、「健康が続く限り生涯現役」が全国22.7%、南房総23.9%と高かった。</p>			

【特別設問】人材定着などに向けて、2026年中に賃金の引上げを実施するか

	項目	全国	南房総	
引上げ	0%以上2%未満	24.3%	29.2%	<p>「人材定着などに向けて、2026年中に賃金の引上げを実施するか」については、「引き上げ」が全国54.9%と、前年調査から3.7ポイント上昇し（2025年3月調査、51.2%）、南房総が64.6%と、前年調査から16.1ポイント上昇した（2025年3月調査、48.5%）。</p> <p>南房総地域では、「引き上げない」の理由については、「賃上げに見合う価格転嫁ができていない」「今後の業況見通しが不透明」がともに10.8%と最も多い結果となった。</p>
	2%以上4%未満	21.6%	23.1%	
	4%以上6%未満	7.5%	12.3%	
	6%以上	1.5%	0.0%	
引上げない	賃上げに見合う価格転嫁ができていない	9.6%	10.8%	
	同業や同地域内の他社が上げていない	1.3%	3.1%	
	今後の業況見通しが不透明	11.9%	10.8%	
	売上の低迷や伸び悩み	4.3%	6.2%	
	これまでに賃金を引上げ済み	7.7%	1.5%	
	自社に従業員はいない	10.4%	3.1%	

<調査の概要>

- ①調査時点：令和8年(2026年)3月2日～6日
- ②調査方法：当金庫による面接聞き取り方式、または対象企業先による直接記入方式。
なお、全国および千葉県は信金中央金庫地域・中小企業研究所の調査による。
- ③分析方法：各質問項目で「増加」(上昇)したとする企業が全体に占める構成比と「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(D.I.)を中心に分析。
- ④調査地域：当金庫の調査地域(南房総地域)は、千葉県館山市、南房総市、鴨川市、鋸南町の3市1町。
- ⑤対象企業：全国の信用金庫の取引先で、特に回答企業のうち従業員20名未満の企業が7割を占めるなど、比較的小規模な企業が主体。
- ⑥標本数：全国14,574企業(有効回答数12,820企業・回答率88.0%)
千葉県320企業(有効回答数307企業・回答率95.9%)
南房総地域 70企業(有効回答数69企業・回答率98.6%)

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって、投資等についてはご自身の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当金庫が正確性および完全性を保証するものではありません。

「たてしん」近況のご報告

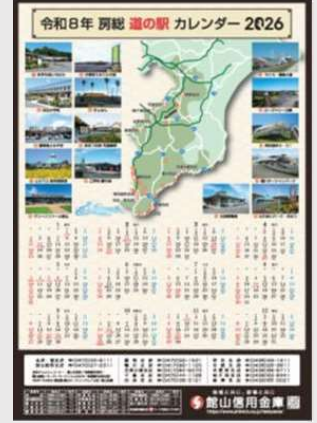
たてしん地域優秀企業表彰



3月2日、優れた経営をする地域の企業をたたえ、地域経済の発展に繋げようと令和4（2022）年度に創設された「たてしん優秀企業表彰制度」の第4回表彰式を当金庫本店で開催しました。

- 【優秀大賞：伝統と革新の匠賞】 有限会社オサダ
 - 【優秀賞：地域活力創生賞】 花しびきグループ
- ※受賞企業は表紙裏面で詳しくご紹介しています。

第47回信用金庫PRコンクール



信用金庫のイメージアップや知名度アップなどを目的に実施される「第47回信用金庫PRコンクール」（関東信用金庫協会主催）にて、『里見の日応援ポスター』がポスター部門で**最優秀賞**、『令和8年 房総道の駅カレンダー』がカレンダー部門で**入賞**を果たしました。

当金庫は、地域貢献事業として「里見のまちづくり」を応援しています。

新小学1年生祝い品贈呈



安房地区（館山市・鴨川市・南房総市・鋸南町）の小学校23校へ、各教育委員会を通じて入学祝い品として文具セットを寄贈しました。地域密着の金融機関として地域の子どもたちに少しでも支援が出来ればと思い、今年度で4年目となります。

今回はクリアファイル1枚と下敷き1枚、鉛筆2本、定規1本のセットを新小学1年生485人に贈りました。

前年同様、クリアファイルには安房地域内の地図と各小学校の所在をデザインし、地域の学習にも役立てていただけるような仕様になっています。

第10期大学生モニター委嘱式



3月16日、地域の企業、個人で組織する「房創人財育英基金」の大学生モニター制度にて10期生のモニター委嘱式を当金庫本店で開催しました。

今期から新たに安房拓心高等学校、安房西高等学校出身の学生も加わり、春から大学生となる安房地域5高校出身の学生7人が委嘱を受け、令和8（2026）年度のモニター生は22名となりました。また、今春大学卒業の6期生6名に感謝状を贈りました。

若潮マラソン ボランティア参加



1月25日、館山市の「若潮マラソン」にボランティアとして参加しました。

当金庫は例年、11キロ地点のエイドステーションを担当し、給水や声援を通じて選手の皆様をお迎えしています。地域全体で大会を支える一体感と温かさを肌で感じる機会となりました。

今後も地域貢献活動の一環として、様々なボランティア活動に積極的に参加し、地域の皆様とともに、地域の発展と活性化に貢献して参ります。

第9回平砂浦海岸植樹活動



3月14日、館山市平砂浦海岸で役員・職員総勢44人がボランティアで植樹活動を行いました。

平砂浦海岸は「日本の白砂青松100選」に選ばれていますが、近年は松枯れが深刻化して更地になった場所も目立ち、飛び砂も問題になっています。

当金庫は、地域の豊かな自然環境を守ることをテーマの1つに掲げ、植樹活動を創立90周年事業として始めて今年で9回目を迎えました。

今回はクロマツなど計200本を植え、9年間の合計で1,800本となりました。



南房総地域の100年企業を訪ねて

当金庫は令和10（2028）年に創立100周年を迎えます。
この地域で、100年を共に歩んできた企業をご紹介します。

【企業名】房州物流株式会社—大正10(1921)年/創業105年

【企業理念】 200年企業を目指し、地域インフラから持続可能な未来をツクル



HP

イメージ
動画

Profile

所在地 千葉県館山市館山95
事業内容 砂利・砕石等の建設資材の生産販売
船舶・トラック輸送、不動産管理等
グループ企業 房州瓦斯(株)、極洋船舶工業(株)、
館山生コン(株)、館山建材(株)、
(有)房州日日新聞社

◆沿革

1921年 房州白土(株)として成立
1927年 房州通運(株)設立
1946年 房州白土(株)⇒房州海運(株)に社名変更
1999年 房州海運(株)と房州通運(株)が合併し
房州物流(株)として新たにスタート

□100年のあゆみ

房州海運は、館山市内でも採掘された白土を木船で輸送していた。房州通運は、館山まで鉄道が開通したのを機に、通運事業者として設立。保田駅から安房鴨川駅間の13駅にあった運送業者を吸収合併し、房州通運が成立。その後、高度経済成長期を迎え、房州通運の事業の中心は通運業からトラック運送業へと変化した。

□100年続いた理由

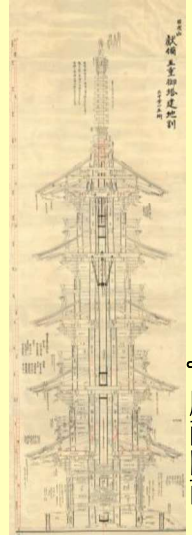
南房総エリアは、著しい人口減少と高齢化が進展する過疎地域です。地域の経済状況は非常に厳しく、経営が成り立たずに長年続けられた事業から撤退される事業者も見られます。しかし、人々の生活に密着した事業者をこの地域から失うことは、地域にとって非常に大きなダメージとなります。南房総の経済を守っていくために、この地域に必要な事業については当社がお引き受けし、グループ企業として維持してきました。

□これからの100年へ

房州エリアが未来に向けてより豊かになるよう、これからも「次の100年も地元地域にとって必要とされる企業」として地域住民から信頼され続けるとともに、グループ内外の事業者と連携しより良い地域づくりに邁進いたします。

【企業名】大五郎建設有限会社—元禄5(1692)年/創業334年

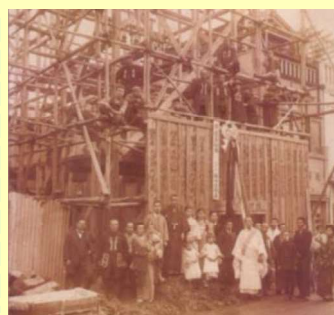
【企業理念】 施主様をはじめ、ご家族の皆様が、いつまでも、幸福な生活を営める住まいをつくり、お客様に喜んでいただけるよう努める。



HP

YouTube

日光東照宮五重塔
版画図面



◆沿革

1692年 創業
1923年 関東大震災でゼロからのスタート
1945年 終戦により再びゼロからのスタート
1985年 大五郎建設有限会社設立

□100年のあゆみ

口伝によれば、信濃（長野県）を經由して江戸、後に安房（千葉県）へ移ったと言い伝わっています。社寺仏閣をはじめ、宮大工の技術を活かし、現在は伝統技術と最新技術を組み合わせ、省エネ・耐震・長寿命・快適・便利・エコロジーを総合し、皆様が安心して過ごせる家造りを行っています。また、最近では地域の防災意識を高める活動として、地震の揺れ体験等を地元の中高生や住民に対して行っています。

□100年続いた理由

現在の棟梁で9代目（判明している分）と言われており、様々な時代と共に歩み、その技術とノウハウを熟成させてきました。宮大工による釘をほとんど使わない、木組みによる建築を住宅に組み込んだのが当社自慢の技術です。

□これからの100年へ

これからは古民家や一般住宅だけをやっている時代ではなく、変革の時代であると考えています。新築工事が減っている中で、昔からあるものを活かし、環境を維持した家造りが求められると思います。「古民家活用プロジェクト」を立ち上げました。現在施工中のS様邸もその1つです。また、宙に浮く家の提案を通して、皆様に災害に対応できるような家造りに関心を持っていただきたいです。伝統技術と現代の環境技術を融合させ、「壊す」時代から「活かす」時代へ。これからも地域に根差し、地球環境にも優しい家造りを続けて参ります。

Profile

所在地 千葉県南房総市千倉町白子1672
事業内容 建設業（新築・リフォーム）